

都市計画マスタープラン素案を公表

平成22年3月策定を目標とした「市都市計画マスタープラン」の素案が、このほどまとまりました。このプランは、市が総合計画で将来像に掲げる「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」を実現するため、市の土地利用や施設の整備方針を示すものです。市はこの素案をより良いものとするため、皆さんの意見を募集します。ここでは素案の概要と、詳細を説明する地区別懇談会の日程をお知らせします。

都市計画マスタープランとは

道路や建物、公園、学校、下水道などで形作られるわたしたちのまち。その施設の整備や、土地利用のあり方についてルールを決めて、活力あるまちづくりを進めるために都市計画があります。この計画を決める際の指針となるものが都市計画マスタープラン（以下、プラン）です。

市行政の総合的な指針となる「総合計画」。その中で、市は「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」を将来の都市像と定めており、プランによるまちづくりも、この実現

が目標となります。

今回お知らせする素案は、少子高齢化や地球温暖化、産業の振興や都市基盤などを踏まえ、19年度の市民アンケート調査やワークショップでの意見を盛り込んで作成されました。内容は、「全体構想」「地域別構想」「実現化方策」の3つで構成されています。

まちづくり方針を示す全体構想

○市の将来人口

平成42年を目標年としているこのプラン。市の将来人口は、少子化などにより11万3600人になると想定されます。

○都市の骨格構造（図1）

都市の骨格構造は、土地利用の現況や規制、地形や道路交通網から「都市・田園ゾーン」「ふるさと田園ゾーン」「自然環境保全ゾーン」に区分。また、東北自動車道・国道4号沿いを「都市広域連携軸」、国道397号沿いを「都市と農村の連携軸」、北上川を「水と緑の連携軸」として他市町との連携を図ります。

○まちづくりの基本目標

基本目標は、次の4つです。
①「環境にやさしいまちづくり」
農山村と都市地域との連携により、効率的で秩序ある市街地

特色ある地域別構想（図2）

全体構想を受けながら、地域ごとに特色のあるまちづくりを進めるために、地域別構想を作成しました。5つの自治区を基本に、地理的な条件を踏まえて8地域に分類しています。各地域の構想は、図2のとおりです。

実現化への方策

これらの方針は、市のすべての事業のほか、周辺都市との広域的な整備事業の指針になるものです。なお、社会情勢の変化や、市総合計画の改定などに応じて検証や見直しを行っていきます。また、市民がまちづくりに参画できるよう、情報の発信や「ひと」づくりに取り組みます。

今回ご紹介した内容は、素案のほんの一部です。さらに詳しくお知らせするため、地区別説明会を下表のとおり予定しています。また、より良いプランにするために皆さんのご意見を募集します。

■問い合わせ 本庁都市計画課計画係（内線523、524）

パブリックコメントの募集

皆さんのご意見を次のとおり募集します。

- 募集期間 12月4日（金）～25日（金）
- 計画素案の閲覧期限 12月25日（金）※平日のみ
- 計画素案の閲覧場所 本庁都市計画課、各総合支所地域整備課、市ホームページで閲覧できるほか、希望者には概要版を配布
- 意見の提出方法 氏名、住所、電話番号を明記の上、郵便、ファクス、電子メール、または直接窓口で提出
- 問い合わせ・提出先 本庁都市計画課計画係（内線523、524）
〒023-8501 ※住所記載不要、本庁都市計画課計画係
☎④1922、✉toshikei@city.oshu.iwate.jp

地区別説明会の日程

都市計画マスタープラン素案の説明会を、次のとおり行います。ぜひご参加ください。事前の申込は不要です。

区	日時	会場
江刺	12月7日（金） 18:30～	江刺総合支所 1階多目的ホール
水沢	12月8日（土） 18:30～	市役所 3階講堂
胆沢	12月9日（日） 18:30～	胆沢文化創造センター小ホール
衣川	12月10日（月） 18:30～	衣川保健福祉センター多目的ホール
前沢	12月11日（火） 18:30～	前沢ふれあいセンター 2階研修室
全区	12月13日（木） 10:00～	市役所 3階講堂

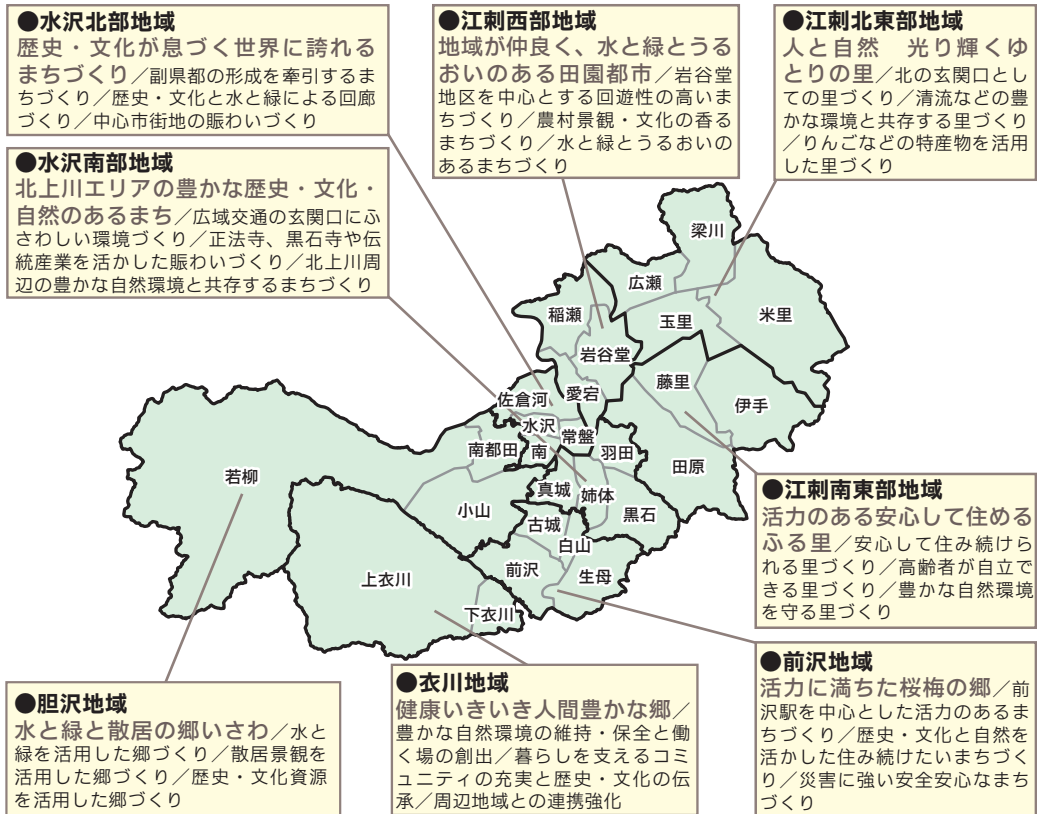
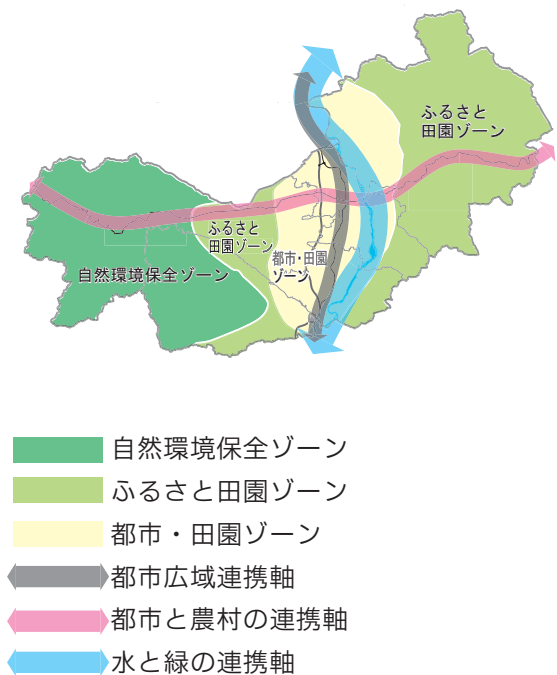


図2 地域別構想（地域区分と地域ごとのまちづくり方針）

図1 都市の骨格構造



形成を進めます。環境に配慮した開発や、公共交通の充実を図ります。
②「住みたくなるまちづくり」
高齢化社会や子育て環境に配慮し、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。また、新たな活力の源となる研究開発型産業の誘致などにも取り組みます。

③「訪れたくなるまちづくり」
森林や田園などの景観を守りながら、周辺市町と連携し、世界に誇れる歴史・文化資源を生かした観光ルートを形成します。
④「協働によるまちづくり」
プラン実現のため、市民・事業者・行政が協働してまちづくりを進める仕組みづくりに取り組みます。